

校章のいわれ



柿ノ木台小学校が開校された年の二学期の終り頃だったと思いますが、校章の図案を公募しているという連絡がありました。私はデザインの心得は全くありませんが、学校の教育方針と、親として子への期待とを考え合わせて作成いたしました。

校章の中心に「柿小」とあるのは言うまでもなく柿ノ木台小学校です。「柿小」を取りまく三つの楕円は、それぞれ、知・徳・体を表わし、子どもたちが、この三つを兼ね備えた円満な人格の形成を象徴しております。更に、楕円には三つの中心があり、

その三つは、それぞれ「子と親」、「子と先生(学校)」、「子と社会」を表わしております。そして、この三つの楕円が融合し調和して、子どもの人格を育成するという教育の姿を意味しております。

外側の六角形は、松葉が開いた形のを三つ組み合わせたものです。これには、三つの意味があります。

その一つは、松戸市立ということから「松」に因(ちな)んで松葉にしたこと。

その二つは、松は常緑樹であることから、子どもたちが何時までも元気で健やかに育てほしいという願いと、柿ノ木台小学校の繁栄を表わしております。

その三つは、松葉が二葉が一对になっており、そのうちの一葉は子で他の一葉は親・先生・社会で、それぞれが元でしっかり結ばれている。そして、それらが互いに手を取り合って、六角形を形成しているのです。

なお、校旗の地色は江戸紫です。この色は、昔、宮中の高貴な方が、衣装にまとうたことに由来するもので、気品高き子どもの人柄と、高邁な学校の精神を表わしております。

校章デザイン作成者 本田和雄